

# 市史編さんだより

2010. 3. 2

〒229-0021

相模原市高根 3-1-19

電話 042-750-8025

FAX 042-750-8039

発行 相模原市総務局総務課市史編さん室

ホームページ: <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

E-MAIL: [shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp)

## 市史『民俗編』 3月末刊行！！

平成22年3月末刊行予定の相模原市史『民俗編』。編集作業も最終段階を迎え、2月5日には、市長、副市長に『民俗編』の内容説明を行いました。

出席された小川直之市史編集委員会委員と神崎彰利市史編さん室特別顧問からは、「伝統的な行事や生業など、

相模原の昔ながらの文化を追い求めることにより、市民生活がどのように変化したのかということを理解することができるものになっている」「大島、下九沢、田名の三匹獅子舞について、獅子舞の一連の所作が文字になって記されたことは特筆すべきこと」など、編集の特徴や成果が説明されました。



相模原市史『民俗編』、どうぞご期待下さい。

### ∞∞∞ 「自然編」「現代資料編」「現代図録編」等 販売書店 ∞∞∞

紀伊国屋書店相模原店（相模大野） ブックスアミ南口店（相模大野） 柴胡書房（文京） 相模書房本店（相模台）  
渡辺書店（相模台） 相模書房女子美術大学店（麻溝台） 久保田書店（千代田） 中村書店淵野辺本町店（淵野辺本町）  
中村書店ダイエー店（上溝） 中村書店本店（横山） 三基書房（田名） 中村書店田名店（田名） 中村書店橋本店（西橋本）  
有隣堂ミウイ橋本店（橋本） カクダイ書店（二本松） 山本書店（津久井町中野） 敏正堂（相模湖町与瀬）

# 昔の市政に関する座談会

座談会出席者 鈴木 實 氏（元相模原市助役）  
宮崎 一雄 氏（元相模原市収入役）  
後藤 孝 氏（元相模原市助役）  
篠崎 明弘 氏（元相模原市教育委員会  
社会教育部長）第2回のみ出席

進 行 石井 篁 市史編集委員

前号で紹介しました昔の市政に関する座談会が、10月31日に第2回、12月26日に第3回が開催されました。前号と同様にその内容の一部を紹介します。



ナトコ映写機 神奈川県図書館所蔵

米軍の廃材を利用して建てられたということです。また、戦後、米国が進める民主化を広めるため、ナトコ映写機を携えて各学校を巡回して、宣伝映画を上映した当時の活動の様子なども語られました。

第2回は、戦後まもなくの公民館活動、現在の自治会組織の前身となった弘報委員会の活動について多く語られました。

大沢公民館開設は昭和24年と戦後早くに行われ、



プレハブ校舎・相模台小学校（昭和52年）広報課所蔵



ずらりと並んだ下水管・相模原駅付近（昭和43年）広報課所蔵

第3回は、近現代部会担当の金原市史編集委員会副委員長も同席し、座談会が進められました。昭和40年代における人口急増と都市基盤整備について、転入や出生による人口の社会増と自然増で、当時は「まごまごできない学校建築」といわれるほど学校を作っても追いつかない時期であったこと、また、このように教育費が財政を圧迫している状況下でも下水道整備だけは着実に進められていったということも語られました。

## 荘厳な新社殿 一田名八幡宮一

市史『文化遺産編』の社寺文化財調査のため、昨年12月2日、水郷田名にある田名八幡宮を訪ねました。

この神社は、毎年1月6日に催される的祭で知られています。平成21年9月に落成したばかりの新しい社殿ですが、御神体は、元禄元年（1688）の銘が刻まれているたいへん古いものです。その他にも社殿内には、木造の八咫鳥、懸仏かりぼとけ、彫像、石造物や木札などが保管されています。



また、境内には、社殿建造中に発掘された木造の布袋ぼてい様がまつられています。その他にも、雨乞いの伝承で有名なじんじい石、ばんばあ石も見ることができます。

## 市内有数の文化財の宝庫一無量光寺一

1月18日、当麻にある無量光寺の予備調査を実施しました。この調査は、各調査執筆員が彫刻、日本画、書を市史「文化遺産編」へ採録するために行う専門的調査です。



長い坂みちの参道を登ると、古寺にふさわしい威風のある山門があらわれます。この山門をくぐると開けた境内に出ますが、そこに並び立つ大きな石灯籠いしどうろうがたいへん印象的です。

このお寺では、山門のほか本尊一遍上人立像や古文書が市の有形文化財に指定されていて、また、境内と**おとしやり**の遺跡が市の指定遺跡に登録されているなど、市内でも有数の文化財の宝庫です。

今回の調査でも、たくさんの仏具、彫刻、絵画、書などを確認することができましたが、なかでも中世に作られたと思われる仏像は今回新たに確認されたもので、精緻で品格を漂わせる作風であり、文化財としてたいへん高い評価を受けることと思われます。

### 編さん室の動き 1月・2月

|                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1/13日 社寺事前調査(下九沢・淵野辺本町)      | 4日 神史協研究会(寒川町)       |
| 16日 近現代部会                    | 5日 民俗編市長説明           |
| 18日 社寺予備調査(当麻)               | 10日 社寺事前調査(淵野辺)      |
| 21・28日 法政大学大原社会問題研究所資料調査     | 16・23日 市立図書館文献収集     |
|                              | 21日 考古部会             |
| 2/3・10・26日 法政大学大原社会問題研究所資料調査 | 22日 社寺予備調査(磯部・新戸・双葉) |
|                              | 26日 社寺事前調査(下溝・上溝)    |

## 「日本歴史の中の相模原—津久井地域—（２）」



講師：神崎彰利  
(市史編さん室特別顧問) 県

日 時：平成 22 年 3 月 27 日（土）  
午後 2 時から 4 時（開場は午後 1 時 30 分）  
会 場：相模原市立博物館大会議室（高根 3-1-15）  
横浜線淵野辺駅下車徒歩 20 分・路線バスも  
あります。  
定員・対象：200 名（当日先着順） どなたでも  
受講料：無料  
内 容：前回の津久井地域（1）では近世史上  
全国で唯一の行政単位であった「津久井

について紹介しました。

今回は、戦国時代北条氏領国内で津久井領のみの特徴である在地武士団の「津久井衆」とその居住地に見られる「敵知行半所務」の問題について、また全国で他に例を見ない「永高制」に注目し、その石高制への展開等を取り上げ近世前期の津久井領の性格を紹介いたします。

### ありがとうございました！！ 22年度 石造物・景観調査 ほぼ終了

旧相模原市内の石造物・景観調査がこの3月でほぼ終了の運びとなりました。各公民館の協力のもと200人に及ぶ市民の方の参加を得て、20年度・21年度の2年をかけての標記調査がほぼ終了し、現在21年度調査分の報告書の作成をしているところです。

この調査は、市史文化遺産編の調査の一環として行ったわけですが、市史編さん事業終了後は、貴重な資料として様々な機会に使われていくことになると思われます。また、各公民館（図書室）にも、その館区の調査報告書がございますのでご利用ください。

この調査では、旧市内各公民館を始め、ボランティアの市民の皆さん、また学校や寺院など様々な方に協力をいただきました。有難うございました。

### 市史編さん業務は博物館に移ります

平成 22 年 4 月から市史編さん業務は博物館に移ります。それに先立って平成 22 年 3 月 20 日（土）から事務室も博物館内に入ります。3 月 20 日以降の連絡先は次のとおりです。

相模原市立博物館 電 話 042-750-8030（代表）Fax042-750-8061

住 所 229-0021 相模原市高根 3-1-15

（平成 22 年 4 月以降） 252-0221 相模原市中央区高根 3-1-15